

第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 物性一般

物性一般2

座長:小川由布子(土木),清原千鶴(建築)

2024年6月27日(木) 10:50 ~ 12:15 第4会場 (第3・4会議室)

[1063]電気炉酸化スラグと発泡スチロールビーズを骨材としたモルタルの フロー値と粘度が骨材分布と電波吸収性能に及ぼす影響

矢部啓悟¹, 伊藤洋介¹, 河辺伸二¹, 池田悠人¹ (1.名古屋工業大学)

キーワード: 電波吸収モルタル、電気炉酸化スラグ、発泡スチロールビーズ、フロー値、粘度、加振、広帯域

建築内部空間における通信障害を解決するため、電気炉酸化スラグと発泡スチロールビーズを骨材としたビーズスラグモルタルによる安価で作製が容易な平板形状の広帯域電波吸収体が研究されている。本研究ではビーズスラグモルタルに増粘剤を添加し、ビーズスラグモルタルの水セメント比、フロー値そして粘度のそれぞれが加振後の骨材の分布状況と電波吸収性能に及ぼす影響を検討した。結果、本測定範囲内ではビーズスラグモルタルの加振後の骨材の分布状況と電波吸収性能に水セメント比とフロー値が与える影響は小さく、粘度が直接的な影響を与えていると考える。